

令和2年度 第1回 松山市子ども・子育て会議

地域子育て部会 会議録

1. 日時

令和2年8月19日（水）10:30～11:40

2. 場所

松山市青少年センター 3階 大ホール

3. 当日の出席者等

(1) 出席委員（7名）（五十音順、敬称略）

井上もと子、恒吉和徳、堀田真奈、室地育子、山下純子、和田真由子、渡部万美江

(2) 事務局

子育て支援課、保育・幼稚園課、子ども総合相談センター事務所、健康づくり推進課、障がい福祉課、学校教育課、地域学習振興課、教育支援センター事務所

4. 傍聴の可否

可（傍聴者0名）

5. 会議次第

(1) 開会

(2) 委員及び事務局職員紹介

(3) 報告事項

①本日の報告事項について

②「松山市子ども・子育て支援事業計画」の令和元年度の実施状況について

(4) 連絡事項等

(5) 閉会

6. 配布資料

・部会次第

・配席図

・松山市子ども・子育て会議 地域子育て部会委員名簿

・資料1 本日の報告事項

・資料2 「松山市子ども子育て支援事業計画」の令和元年度実施状況
～事業計画第4章「施策の展開」部分～

・資料3 「松山市子ども子育て支援事業計画」の令和元年度実施状況
～事業計画第5章「子ども・子育て支援の新たな取り組み」部分～

会議録

1. 開会

・事務局

それでは、ただ今から、令和2年度 第1回 松山市子ども・子育て会議 地域子育て部会を開会させていただきます。

本日の部会につきましては、委員総数10名のうち、7名のご出席をいただいておりますので、松山市子ども・子育て会議条例の規定により、本会議が成立しておりますことを、ご報告させていただきます。

それでは、お手元に配布しております次第に沿って進行をさせていただきます。

本来であれば、部会長に進行をお願いするところですが、次第2の“委員及び事務局職員紹介”までの間、引き続き、進行役を務めさせていただきますので、よろしくお願いいたします。

2. 委員及び事務局職員紹介

・事務局

まず、次第2でございますが、本年度最初の会議でありますので、事務局から机上配布したお手元の名簿の順に、本部会の委員の皆様のご紹介をさせていただきます。

～ 五十音順で委員紹介 ～

・事務局

続きまして、本部会事務局の関係課のご紹介をさせていただきます。

子育て支援課です。本部会の所管課となります。

保育・幼稚園課です。健康づくり推進課です。子ども総合相談センター事務所です。障がい福祉課です。教育支援センター事務所です。地域学習振興課です。学校教育課です。以上です。

それでは、松山市子ども・子育て会議条例の規定により、これより先は、恒吉部会長に進行をお願いいたします。

恒吉部会長、よろしくお願いいたします。

3. 報告事項

・恒吉部会長

みなさま、おはようございます。令和2年度最初の会議ということでもありますし、改めましてよろしくお願いいたします。

さて、本日の議題は、松山市子ども・子育て支援事業計画の令和元年度の事業の実施状況についての報告ということで、この後事務局から説明がありますが、委員の皆様には、後日、点検・評価を行っていただくこととなりますのでよろしくお願いいたします。

時間も限られていることですから、ご意見は頂戴しながらも、スムーズに進行できるようご協力をお願いします。

まずは、(1) 本日の報告事項について、事務局から説明をお願いします。

(1) 本日の報告事項について

- ・事務局

～事務局から、資料1に基づき本日の報告事項について説明～

- ・恒吉部会長

事務局の説明は終わりました。

本日は、全体会でも説明があったように、「松山市子ども・子育て支援事業計画」の令和元年度部分の点検・評価をおこなうにあたり、計画の第4章と第5章に関する内容について、それぞれ事務局に実施状況の報告を行ってもらい、その報告も踏まえ、各委員の方が持ち帰って、点検・評価するようになります。本日の会議の場で点数をつけるわけではありませんので、その点をご注意いただければと思います。

本日の報告事項については、先ほどの全体会で説明した内容の確認という意味ですので、先に進めさせていただきます。

引き続き、報告事項(2)「松山市子ども・子育て支援事業計画」の令和元年度実施状況についての事務局から説明をお願いします。

(2) 「松山市子ども・子育て支援事業計画」の令和元年度の実施状況について

- ・事務局

～事務局から、資料2及び3に基づき松山市子ども・子育て支援事業計画の令和元年度実施状況について説明～

- ・恒吉部会長

事務局の説明は終わりました。

第4章部分は、資料2にあるとおり各事業に対して各課が取り組んだ内容の報告ということでした。

第5章部分が、実際に各委員の方に評価をしていただくようになります。全体会で説明のあったように、各委員の評価の平均点の四捨五入したものが会議としての評価となります。

この表には、事務局があらかじめ「△・○・◎」の自己評価を入れていますので、その自己評価も参考にしながら、各委員の方が持ち帰って、0から5までの評価を付けていただければと思います。

それでは、事務局の実施状況の報告について、第4章と第5章に分けて質問を受け付けます。第5章については評価に関係するので、事業ごとに区切って質問をいただきたいと思います。

まず、第4章について何かご質問などがありましたらどうぞ。

①4章部分質問

- ・恒吉部会長

高齢福祉課が担当の、5ページの「生きがい交流センターしみず」ですが、今後、少子化に伴って小学校の空き教室をどのように活用していくかが非常に重要な課題になってくると思います。これは珍しい事例なのかもしれませんが、清水小学校でこういった活動をしているということで、中止にもなっていないということは、それなりの教育効果もあるのかなと思います。今後、松山市として余裕教室の活用について、高齢者との交流や、子育てに関する事業を取り組む方へのスペ

ースの提供のような方向性での検討は進んでいるのでしょうか。

・事務局

学校施設の面積を減らすという方向性で、国及び松山市が検討しています。その際に余裕が出た教室については、児童クラブ室として活用することも検討しています。児童クラブでは、地域にもよりますが、高齢者との交流も行っています。

・恒吉部会長

全国的に「地域共生社会」が高々と掲げられている中で、多世代交流や、今後も増加傾向になるであろう高齢者の知識・技術を貴重な社会資源としてどのように子育てに絡めていくかということは、非常に重要な課題と思いますので、松山市としてもぜひ意識してもらいたいです。

・堀田委員

5ページの、健康づくり推進課の「パパ・ママのための教室」ですが、何回実施して何人参加したかというのも非常に目安にはなりますが、男性の育休推進や、報道にあったような男性の産休の創設といったことを意識した内容になっているのでしょうか。

・事務局

まず「パパ・ママ教室」については、夫婦参加を原則としています。また、その教室の中で2つのメニューがあり、1つ目が「沐浴」で、その中で父親の役割を感じてもらっています。2つ目が「講演」で、その中でも夫婦の役割を考えてもらっています。こうしたことで、「夫婦としてやっていくという自覚ができた」という感想をもらっています。

・堀田委員

教室に来られる方はそういった意識が高い方と思うのですが、来られない方のために、企業との連携もすすめていただきたいです。

・恒吉部会長

ほかはよろしいでしょうか。

(質問なし)

それでは、第5章について1事業ずつ質疑応答したいと思います。

②5章部分質問

・恒吉部会長

まず、「児童クラブ運営事業」について、質問等ございませんか。

・堀田委員

児童クラブで、長期休暇中だけ預かってほしいという需要はあると思いますが、それについて昨年度から見合わせる学校もあると聞いていますが、長期休暇中は別枠で受け入れる学校はありますか。

・事務局

長期休暇中のみ受入れをしている小学校はありません。

- ・井上委員
 児童クラブの受入れは、以前は3年生まででしたが、今は6年生まで受け入れるようになって
 います。年代の幅が広がったが、指導員の教育や、子どもへの配慮はどのようにされているの
 でしょうか。
- ・事務局
 支援員に対しては、年間4回から5回の研修を通して資質向上を図っています。また、クラブ
 によっては、低学年だけの教室を作るなど工夫をしています。クラブからは、別の年代の交流が
 できてよいという声もあります。
- ・井上委員
 特にマイナス面はないのですね。
- ・事務局
 現場からは特に聞いておりません。
- ・恒吉部会長
 対象学年の拡大ができていない4校区については、どういった理由で拡大できていないのでし
 ょうか。
- ・事務局
 長期休暇中のみ拡大できていない校区もありますので、通年については1校区のみとなってい
 ます。
- ・恒吉部会長
 次に、子育て短期支援事業について、質問等ございませんか。これは全体会で三浦会長からあ
 ったとおり、件数が多ければよいというものではありませんので、このあたりも踏まえて評価は
 していただきたいと思います。
- ・堀田委員
 なぜ少ないのかの検証はできているのでしょうか。
- ・事務局
 全体の数が増加した理由については、同じ人が何度も利用したことがあるのですが、実人数が
 前年の31人から36人と、あまり増えていません。この理由は、ほかの子育て支援サービスが充
 実してきていることが考えられます。
- ・堀田委員
 解釈ではなく事実をはっきりとさせるべきと思いますが、一方でそもそも使い勝手が悪いとか、
 そういった声があるかどうかを拾うことが重要と考えます。
- ・事務局
 利用者からそういった声もあるので、今後も検証していきます。

- ・和田委員
 確保量以上の希望があったことはありますか。また、確保している量は十分ですか。
- ・事務局
 利用したい方についてはほぼ利用できています。コロナの影響で、施設側の要望により受入れできない場合はありました。
- ・恒吉部会長
 こういった事業は、ニーズに対して対応できているかが重要ですが、その対応はできているということです。ただ、そもそも周知ができているのか、必要なのにこのサービスの存在を知らない方もいるかもしれません。知っていても使いづらさがあるって使わないのかもしれない。そのあたりの分析を踏まえての評価になると思いますので、そういった声も拾っていただければと思います。
- ・事務局
 児童養護施設での預かりということに抵抗がある方もいるようですので、その辺りの分析も今後の課題と考えています。
- ・恒吉部会長
 次に、乳児家庭全戸訪問事業について、質問等ございませんか。
- ・堀田委員
 「行った」という事実だけで評価してよいのでしょうか。
- ・事務局
 「行っている」という事実もそうですが、自宅に行くことで虐待の防止につながることや、保護者の育児不安の解消になり、今後の母子保健の紹介にもなる冊子を渡すこともしており、赤ちゃんの健やかな育ちにつながると考えています。
- ・井上委員
 実際に訪問してみても実感ですが、行くこと自体に効果があると考えています。現在、コロナの状況で電話が中心ですが、実際に行って情報をつかんだ方が、電話よりも今後の支援につながる効果があると思います。
- ・山下委員
 今年度の実績の83.8%は、訪問して話を聞いてもらえるところまで行った数値ですか。
- ・事務局
 そのとおりです。昨年度は3月にコロナの影響で訪問を控えてほしいという方が多かったため、このような数値となりましたが、訪問できなかった家庭に対しても、年度が替わってから訪問できています。

・恒吉部会長

次に、養育支援訪問事業について、質問等ございませんか。

(質問なし)

新しい支援のあり方が求められる中、リモートを含めて検討していく必要があると思います。

・恒吉部会長

次に、地域子育て支援拠点事業について、質問等ございませんか。

(質問なし)

・恒吉部会長

次に、病児・病後児保育事業について、質問等ございませんか。

・堀田委員

「引き続き調査研究していきます」とありますが、どのように検証していますか。

・事務局

年度の利用者数を見ると、30年度から31年度は増加しています。その中身としては、共働き世帯は増えているにもかかわらず、働き方改革が進み、仕事を休みやすくなったという声があります。また、松山市が委託している4つの病院ですが、それ以外にも認可外施設では、企業主導型保育をやっているところもあり、その中には、例えば松山市民病院に隣接する保育所では病児・病後児保育をしており、そちらでもニーズを吸収できていると考えます。

前々から言われている「市内の北部に施設がない」ということについて、北部のニーズはほかに比べて高くはありませんが、確実にニーズはありますので、医師会に説明したり、飛び込みで営業もしたりしてきました。しかし、小児科医の激務や、看護師・保育士の確保が難しいこと、施設を改修しないといけないこともあり、施設改修については補助もあると説明をしてもなかなか踏ん切りがつかない、という状況も踏まえて、「引き続き調査研究していきます」という文言となっています。

・堀田委員

企業との連携が重要だと思うので是非お願いします。

・恒吉部会長

次に、ファミサポ事業について、質問等ございませんか。

・井上委員

利用者から聞いた話ですが、ファミサポでは家事のお願いではできないのですか。

・事務局

ファミサポでは家事は対象外です。シルバー人材センターの「イクじい・ばあばママサービス」ではやっているのです、そちらを案内しています。

・恒吉部会長

そのあたりの違いが認識されていないという部分もあると思います。また、他市町でもファミサポの利用者は減少傾向なのでしょうか。

- ・事務局

他市町の情報は把握していませんが、松山市での利用者については、30年度から31年度で約1,800件減少しています。内訳として保育園や幼稚園の送迎・預かりが約1,300件、児童クラブの送迎が400件減少しています。理由は、以前利用していた方等に聞いたところ、働き方改革により時短勤務ができるようになったことなどがあります。

- ・恒吉部会長

他市町も同じ傾向なのか、松山だけ減少しているのかによって、今後の課題も見えてくると思います。

- ・恒吉部会長

次に、妊婦一般健診事業について、質問等ございませんか。

(質問なし)

- ・事務局

先ほどの児童クラブの件で修正させてください。「長期休暇中のみ受入れをしている小学校はありません」と回答しましたが、かなりの数のクラブが受け入れていますので修正します。

- ・恒吉部会長

以上で、本日の議事はすべて終了いたしました。これまでを通して、改めて質問等ございませんか。

4. その他 連絡事項

- ・恒吉部会長

議事は以上でございますが、続いて「連絡事項等」について、事務局から説明をお願いします。

～事務局から、連絡事項等について、説明～

5. 閉会

- ・恒吉部会長

それでは、以上をもちまして、本日の全ての審議を終了とします。

委員の皆様方には、大変お忙しいところではございますが評価のほうよろしく申し上げます。それでは事務局にお返しします。

- ・事務局

恒吉部会長、ありがとうございました。

それでは、以上をもちまして、「令和2年度第1回松山市地域子育て部会」を閉会いたします。

(了)